

2019年度 受験対策用

簿記 3 級

テキスト



目次

第1章 現金・当座預金・・・1

1. 現金過不足 2
2. 複数口座 5
3. 当座借越 6
4. 小口現金 8

第2章 商品売買・・・12

1. 商品の仕入（分記法） 13
2. 商品の売上（分記法） 14

第3章 貸付金・借入金・・・15

1. 利息の計算 16
2. 手形貸付金・手形借入金 17

第4章 固定資産・・・18

1. 減価償却費 19
2. 固定資産の売却 22
3. 資本的支出と収益的支出 24

第5章 純資産・・・25

1. 純資産とは 26
2. 株式の発行 27
3. 当期純損益の振替え 28
4. 剰余金の配当と処分 29

第6章 税金・・・31

1. 法人税等 32
2. 消費税 34

第7章 貸倒れ 36

1. 貸倒引当金の設定 37
2. 貸倒れの処理 38
3. 償却債権取立益 39

第8章 経過勘定 40

1. 経過勘定とは 41
2. 未払費用 42
3. 未収収益 43
4. 前払費用 44
5. 前受収益 45
6. 再振替仕訳 46

第9章 その他の取引 47

1. 受取商品券 48

2. 差入保証金 49
3. 貯蔵品 50
4. 法定福利費 51
5. 訂正仕訳 52

第10章 証ひょう 53

1. 証ひょうとは 54
2. 売上の証ひょう 63
3. 税金の証ひょう 70
4. 預金の証ひょう 72

第11章 帳簿 76

1. 帳簿の種類 77
2. 現金出納帳 78
3. 当座預金出納帳 79

- 4. 小口現金出納帳 80
- 5. 仕入帳と買掛金元帳 83
- 6. 売上帳と売掛金元帳 85
- 7. 手形記入帳 87
- 8. 商品有高帳 89
- 9. 固定資産台帳 92

第12章 試算表 93

- 1. 3級で出題される問題の形式 94
- 2. 試算表の問題の解き方① 95
- 3. 試算表の問題の解き方② 98

第13章 精算表 100

- 1. 決算の流れ 101
- 2. 精算表の作成 103

- 3. 決算整理後残高試算表 117

第14章 財務諸表の作成と 帳簿の締切り . . . 118

- 1. 財務諸表の作成 119
- 2. 帳簿の締切り 120

第1章

現金・当座預金

～学習内容～

1. 現金過不足
2. 複数口座
3. 当座借越
4. 小口現金



第1節 現金過不足

げんきんかぶそく

- 現金過不足とは、現金の帳簿残高と実際有高が一致しない状態

1. 現金過不足が発生したときの仕訳

- 帳簿残高を**実際有高**に修正

帳簿残高 > 実際有高の場合				帳簿残高 < 実際有高の場合			
【例1-1】 現金の帳簿残高は ¥ 700 であるが、実際有高は ¥ 500 であった。				【例1-2】 現金の帳簿残高は ¥ 700 であるが、実際有高は ¥ 900 であった。			
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金過不足	200	現金	200	現金	200	現金過不足	200



2. 現金過不足の原因が判明したときの仕訳

- ・ 現金過不足をその原因を示す勘定科目に振り替える※

※ ある勘定科目から他の勘定科目に変更すること

現金過不足が借方残高の場合				現金過不足が貸方残高の場合			
【例1-3】（例1-1の続き） 現金過不足 ¥200（借方残高）のうち、¥100は通信費の記帳漏れであることが判明した。				【例1-4】（例1-2の続き） 現金過不足 ¥200（貸方残高）のうち、¥100は受取地代の記帳漏れであることが判明した。			
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
通 信 費	100	現 金 過 不 足	100	現 金 過 不 足	100	受 取 地 代	100



3. 決算日の仕訳

- ・ 決算日まで原因が判明しない現金過不足がある場合
⇒ 雑損（費用）または雑益（収益）として処理

現金過不足が借方残高の場合				現金過不足が貸方残高の場合					
【例1-5】（例1-3の続き） 決算日につき、原因不明の現金過不足 ¥ 100 （借方残高）について適切に処理する。				【例1-6】（例1-4の続き） 決算日につき、原因不明の現金過不足 ¥ 100 （貸方残高）について適切に処理する。					
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額		
雑	損	100	現金過不足	100	現金過不足	100	雑	益	100

現金過不足は一時的な勘定科目だから
最終的にはゼロにする必要があるんだ



第2節 複数口座

- ・ 会社は目的によって複数の預金口座を使い分けることがある

⇒ 口座ごとに勘定を設定する

【例1-7】

A銀行とB銀行に当座預金口座を開設し、それぞれの口座に現金 ¥ 100を預け入れた。管理のために口座ごとに勘定を設定することとした。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
当座預金 A 銀行	100	現 金	200
当座預金 B 銀行	100		

勘定科目に銀行名が付くだけだよ



第3節 当座借越

1. 当座借越とは

とうざかりこし

- ・ **当座借越**とは、当座預金の残高を超えて当座預金を引き出すこと
- ・ 通常、当座預金の残高を超えて当座預金を引き出すことはできないが、銀行と当座借越契約を結ぶことで、一定額まで可能となる

2. 当座預金の残高を超えて引き出したときの仕訳

- ・ **当座預金の減少**として処理

【例1-8】

商品 ¥ 200を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の残高は ¥ 100であり、取引銀行と限度額 ¥ 300の当座借越契約を結んでいる。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
仕 入	200	当 座 預 金	200

3. 決算日の仕訳

- ・ 決算日において当座預金が貸方残高である（当座借越が生じている）場合
⇒ 貸方残高の当座預金を当座借越（負債）または借入金（負債）に振り替える

【例1-9】取引例1-8の続き
決算日において当座預金が¥100の貸方残高であるため、当座借越に振り替える。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
当座預金	100	当座借越	100

4. 翌期首の仕訳（再振替仕訳）

- ・ 決算日に当座預金の貸方残高を当座借越または借入金に振り替えたときは、翌期首（翌期の期首）に決算日の仕訳の逆仕訳をして振り戻す

【例1-10】取引例1-9の続き
前期の決算日において行った当座借越¥100の処理について再振替仕訳を行う。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
当座借越	100	当座預金	100

当座借越と借入金のどちらで
処理するかは問題の指示に従おうね



第4節 小口現金

1. 小口現金とは

・会社では通常、経理部がお金の管理をしているが、経理部以外の各部署で電車代や切手代などの細かい支払いが必要な場合がある。

このような支払いに備えて、各部署にあらかじめ少額の現金を渡しておくことがあり、この少額の現金のことをこぐちげんきん小口現金という。

・経理部のように会社全体のお金を管理する人を会計係、各部署で小口現金を管理する人を小口現金係という。

・会計係は、小口現金係から定期的（1週間や1か月ごと）に小口現金を何にいくら使ったのか報告を受け、使った分だけ小口現金を補給する。

このように一定の小口現金を前渡ししておく方法を、定額資金前渡法（インプレスト・システム）という。

2. 小口現金を前渡ししたときの仕訳

- ・小口現金は資産なので、増えたら借方、減ったら貸方に記入

【例1-11】
会計係が小口現金係に小口現金の前渡分として、小切手 ¥ 500 を振り出して渡した。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
小口現金	500	当座預金	500

3. 小口現金で支払ったときの仕訳

- ・仕訳なし

⇒各部署で支払いが生じた場合、小口現金係が管理する小口現金から支払いを行うが、仕訳を行うのは会計係であるためこの時点では仕訳なし。



4. 会計係が小口現金の支払報告を受けたときの仕訳

- ・ 会計係は、小口現金係から小口現金を何にいくら使ったのか報告を受け、仕訳する。

【例1-12】（例1-11の続き）
小口現金係より、電車代 ¥ 200 と切手代 ¥ 100 を小口現金で支払ったという報告を受けた。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
旅費交通費	200	小口現金	300
通信費	100		

5. 小口現金を補給したときの仕訳

- ・ 定額資金前渡法（インプレスト・システム）では、使った分だけ小口現金を補給する。
- ・ 補給した分だけ小口現金の増加として処理

【例1-12】
小口現金係の支払報告に基づき、小切手 ¥ 300 を振り出して小口現金を補給した。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
小口現金	300	当座預金	300

6. 支払報告と同時に補給したときの仕訳

- ・小口現金係から支払報告を受けると同時にただちに小口現金を補給したときは、支払報告時の仕訳と補給時の仕訳をまとめて行う。

【例3-4】

小口現金係より、電車代200円と切手代100円を小口現金で支払ったという報告を受けたため、小切手300円を振り出して小口現金を補給した。

①支払報告時の仕訳（例3-2）

勘定科目	金額	勘定科目	金額
旅費交通費	200	小口現金	300
通信費	100		

②補給時の仕訳（例3-3）

勘定科目	金額	勘定科目	金額
小口現金	300	当座預金	300

①の貸方と②の借方の小口現金が相殺されて消えるよ

勘定科目	金額	勘定科目	金額
旅費交通費	200	当座預金	300
通信費	100		

